

防災対策



【菊住学区】

■世帯数：3,736 世帯

■人 口：8,575 人

■面 積：0.745 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

様々な防災対策を実施。延べ参加者数は約 410 人。

- ・ 町内ごとに防災マップを作成し、要援護者・支援者を特定し、その居住地をマップに記載する。
- ・ 木造住宅の居住者に名古屋市無料耐震診断を受けることを勧める。
- ・ 菊住コミュニティセンターにおいて家具の転倒・ガラスの飛散防止対策実践講習会を行うほか、独居高齢者および高齢者世帯を中心に、町内有志により実施する。
- ・ 津波避難ビルへの避難訓練を実施する。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、該当者を直接訪問

2 きっかけ、背景

菊住学区は天白川・山崎川の両方に接しており、東海集中豪雨時の経験や、災害予測の情報から、学区住民は豪雨・地震・津波に対する防災対策が急務であるという認識が高く、地域全体での防災対策をはじめることとなった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、消防団員、少年補導委員、コミュニティセンター館員 計約 70 人

(2) 他団体との協力

地域内商業施設

(3) 運営協力

町内会長を中心に、消防団、民生委員等の協力を得ている。

4 実施のスケジュール

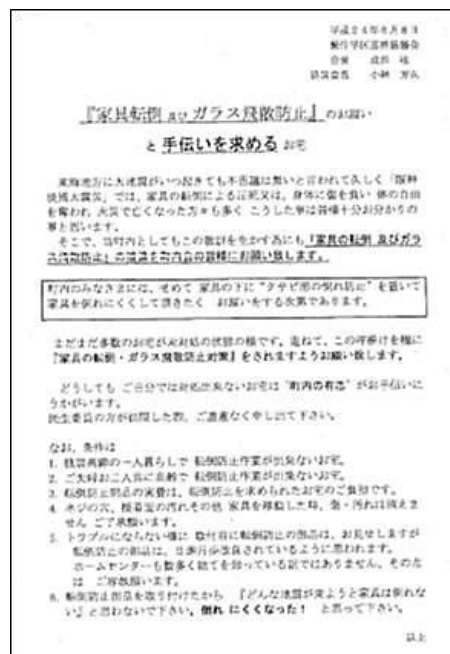
H22 年 10 月 学区全世帯を対象に「防災アンケート」を実施
防災マップの作成（町内ごと）
要援護者・支援者の特定（町内ごと）

12 月～
H23 年中 木造住宅名古屋市無料耐震診断おすすめ

H23 年 9 月 「災害ボランティアネットワーク」会員等を講師に家具の転倒、ガラスの飛散防止対策講習会の開催

H24 年 6 月～ 家具の転倒、ガラスの飛散防止対策実施

H24 年 7 月 要援護者・支援名簿の再登録を呼び掛け



5 成果と課題

(1) 成果・効果

防災対策についての住民意識が高まり、住民間の交流が深まった。

(2) 苦労した点

木造住宅耐震診断、家具の転倒防止対策等は住民の理解を得るのに苦労した。
民生委員の協力は大きかった。

(3) 今後の課題・展望

担い手の世代交代と他団体との協力を進め、活動を継続する。